

8-4-32 自動運転WG

1. 主な活動の記録

自動運転WGでは、昨年度に引き続き、自動運転に関する情報を収集し、建設コンサルタント協会に情報共有することを念頭に活動を行った。

また、今年度はコロナ禍の中、中々活動が出来ない状況であったが、コロナ対策を徹底し、先進事例である柏の葉地区での取り組み（自動運転バス、スマートシティ等）に対する視察を行い、自動運転技術の現状を把握すると共に情報交換会を実施した。

また、下記に示す項目について、3回のWG開催（視察含む）し、意見交換および検討を行った。

- ・自動運転に関する情報収集・話題提供
- ・自動運転に関する意見交換
- ・自動運転バス試乗（柏の葉地区）視察会
- ・建設コンサルタント市場への展開

2. 実績報告

3回のWGを開催し、技術委員会、情報委員会から選出の計9名の委員により主に次項目を検討した。

（1）情報収集・話題提供

自動運転に関する建設コンサルタント市場の現状分析・課題抽出のため、各委員会での情報や各委員による情報を収集し、その話題提供に基づき意見交換等を実施した。

a) 現状の取組について

建設コンサルタント協会のみならず、他業界における社会実験や取組について情報を収集し、今後の建設コンサルタント業界での展開について議論を行った。

b) 課題の整理・対応について

建設コンサルタント業界における今後の自動運転に関する検討に対し、インフラ側に求められる要件や業界に今後求められる課題、対応等について再整理を行った。

（2）自動運転バス視察会の実施

自動運転WGでは、過去に机上の検討、意見交換、講習会を実施してきたが、今回は参加型イベ

ントとして、自動運転車両の試乗会を活用した実体験（視察会）を行った。

a) 柏の葉地区自動運転シャトルバス試乗会

自動運転でのバス事業の営業運行を目指し、運行時の課題把握、対応方法の検証を目的とした自動運転バスによる営業運行実証実験（柏の葉キャンパス駅から東京大学 柏キャンパス間の約2.6km）を5ヵ月間実施しており（モビリティ・イノベーション連携研究機構）、本視察会においては、その取組みについて、実際に試乗し、現状の把握、課題等について把握した。

b) 柏の葉スマートシティツアーパートicipate

対象となる柏の葉は2014年7月にグランドオープンしたゲートスクエアを見学するコースであり、タブレット端末を使用しながら専門のガイドによる最先端のまちづくり、具体的な取り組み、そして施設に至るまで分かりやすく案内される内容である。

ツアーパートicipateにおいては、上記の活動成果を踏まえ、今後の自動運転を活用した社会資本整備事業における最先端のまちづくり事例等についての意見交換を行った。

（3）今年度活動実績

- | | | |
|-----|-----|---------------|
| 第1回 | WG | 令和2年11月19日（木） |
| 第2回 | 視察会 | 令和2年11月19日（木） |
| 第3回 | WG | 令和3年2月10日（木） |

4. 次年度の活動について

（1）情報収集・発信と運営体制の検討

現状分析・課題抽出のために、継続的な運営体制の構築と建設コンサルタント協会内外への情報発信についても検討する。

（2）意見交換会の開催

学識経験者やタクシー業界、トラック協会より講師を招き、自動運転に係る現状の動き等について意見交換会を実施し、今後の自動運転に関する市場開拓での協働も視野に交流を深め、継続的な情報共有の場とすることを検討する。

（自動運転WG WG長 大森 陽一）